

Handwritten mark

電信課長

大臣

次官

Seal

亞細亞 通商 條約 文化 人文 文書 會計

寫送先

分類 A.1.1.0.25-2

昭和7 一三五二二 暗 南京 十日後發 本省 六月十日後着 亞

齋藤外務大臣 上村總領事代理

第四五〇號

本官發上海宛電報

第五三號

貴電第三九號ニ關シ

蘇州領事館復歸ノ時期及方法ニ就テハ目下當地憲兵司令其ノ他ト打

合ノ上蘇州方面ノ事情調査中ニ付決定次第電報スヘシ

支ヘ轉報アリタシ

外務大臣ヘ轉電セリ

Vertical handwritten note on the right side of the second page.

外務省

S11108

0840

0143

編者附

Handwritten notes at the top of the first page.

寫

昭和7 一三五九一 暗 南京 十一日後發 本省 六月十一日後着 亞

齋藤外務大臣

第四五四號

本官發上海宛電報第五四號

往電第五三號ニ關シ

蘇州ニ在ル十九路軍ハ編建行ノ船便ヲ待チツツアル處茲一週間位ノ

内ニハ船繰付キ得ヘク從テ十日位ノ内ニハ全部出發ノ筈ナルニ付領

事館員ノ蘇州行キハ其レ迄待タル方安全ナルヘク十九路軍出發ノ

上ハ直ニ當方ニ通知シ邦人ノ安全復歸ニ付充分手配スヘキ旨谷正倫

ヨリ電話シ來レリ

分類 A.1.1.1.25-2

Vertical handwritten note on the left side of the second page.

外務省

S11108

0841

0144

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

次大臣
官

電信課長

(分類 1110.25-2)

昭和7 一四〇四三 暗 南京 十七日後發
本省 六月十七日後着 亞

齋藤外務大臣
第四六九號
官發上海宛電報

第五六號
往電第五四號ニ關シ

十七日更ニ憲兵司令部ニ付確カメタル處蘇州ノ第六十師ハ大體出拂
ヒタルモ(本官發大臣宛電報第四六八號參照)尙司令部残り居リ遲
クモ今月末迄ニハ出發スル筈ニ付領事館ノ復歸ハ其後ニセラレ度キ
旨申居レリ

上海於七日午後... 在貴邦保留... 難及被家... 件

外務省

S 11108

0843

0146

印

就テハ蘇州領事ノ歸任ハ右申越ノ通十九路軍ノ出發迄待タルル方可
ナルヘシ
大臣へ轉電セリ
支へ轉報アリ度シ

は(シ)

外務省

S 11108

0842

0145

寫送先

會文人情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

大臣
次官

電信課長

分類 1110.25-2

昭和7 一四八四二 暗
南京 六月廿八日後發 亞
本官發上海宛電報
第四九四號
齋藤外務大臣
第五八號
往電第五六號ニ關シ
二十七日谷正倫來訪シ蘇州ニハ今尙十九路軍ノ一部殘留シ居ルモ谷
配下ノ憲兵團長モ同地ニ在リ市内ノ治安モ良ク維持セラレ居ルニ付
日本領事館ノ復歸差支無シト認メラル就テハ日本領事ノ上海出發ノ
日時御通知アリ次第直ニ途中保護方手配スヘキ旨申出テタリ(上海

言金任
上海
日本領事館
復歸差支無シト認メラル就テハ日本領事ノ上海出發ノ
日時御通知アリ次第直ニ途中保護方手配スヘキ旨申出テタリ(上海

外務省

S 11108

0845

0148

外務省

支へ轉報アリ度シ
大臣へ轉電セリ

S 11108

0844

0147

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

次官
大臣

電信課長

(分類 A. 1. 1. 0. 25-2)

昭和 7 一五一三八 略 南京 本省 七月一日後發 亞

齋藤外務大臣

第五〇一號

本官發上海宛電報第五九號

往電第四三號ニ關シ

五日蘇州領事館復歸ノ件ハ昨三十日憲兵司令及外交部ニ通告補足方
手配濟ミ支

支へ轉報アリタシ

大臣へ轉電セリ

外務省

S 11108

0847

0150

ヨリ直接赴キ差支無シトノコトナリ)

尙外交部ヨリモ保護方手配スヘキニ付領事出發ノ日時承知シ度キ旨
申越セリ

就テハ外交部及憲兵司令ヨリ地方官憲ニ訓令ノ都合モアリ蘇州領事
上海出發ノ數日前當方ニ通知アリ度シ

公使へ轉報アリ度シ

大臣へ轉電セリ

外務省

S 11108

0846

0149

寫送先

會文人文情條通歐亞細亞
計書事化報約商米

大臣
次官

電信課長

(分類 A. 1. 1. 0. 25-2)

昭和7 一五三五九 略 上海 五日後發
本省 七月五日後着 亞

齋藤外務大臣
第八二七號 村井總領事

本官發南京宛電報第四四號ニ關シ

川南以下蘇州領事館々員及家族並ニ在留民五日午前九時廿五分發列車ニテ出發セリ

南京憲兵司令ヨリ派員シテ保護ニ當リ鐵道ハ專用車へ連結セリ

守屋書記官ニ轉報セリ

S 11108

0849

0152

外務省

寫送先

會文人文情條通歐亞細亞
計書事化報約商米

大臣
次官

電信課長

(分類 A. 1. 1. 0. 25-2)

昭和7 一五二〇四 略 上海 二日後發
本省 七月二日後着 亞

齋藤外務大臣
合第八二〇號 村井總領事

本官發南京宛電報第四四號

往電第四三號ニ關シ

五日蘇州へノ復歸人員左ノ通

一、領事館員及家族計六名(警察官ハ未タ任命ナキモ當館在勤者全部復歸スルモノトセハ更ニ七名増加)

二、在留民十五名

大臣へ轉電シ支へ轉報セリ

S 11108

0848

0151

外務省

記録
上海ニ於ケル日
衝突事變關係
件
在留民ノ保護
事務及
不
手
本

分類 1110.25-2

電信課長 昭七 〇

大臣 次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 會計 文書

亞細亞司 普通第一七號

昭七 年七月六日

在蘇州 領事代理川南省

外務大臣伯爵 内田康哉 殿

昭七 年七月六日 附 在華及香港各公館長

公信號外第 號寫送附

件名 歸任通知ノ件

在蘇州日本帝國領事館

11108 0851 0154

分類 1110.25-2

電信課長 昭七 〇

大臣 次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 會計 文書

昭七 年七月六日 附 在華及香港各公館長

公信號外第 號寫送附

件名 歸任通知ノ件

在蘇州日本帝國領事館

11108 0850 0153

昭和7 一五四八三 暗 蘇州 本省 六日後發 七月七日前着 川南領事代理

第一六號 往電第一四號ニ關シ

五日復歸者歸宅ニ際シ當館巡查及公安局員立合ノ下ニ残留財産ノ戸別臨檢ヲ行ハシメタル處租界内ニ一件若干ノ盜難アリタル保護行届キ被害無キ見込ナリ尙歸來者ノ居住、營業ニ對スル安全保護並ニ未着者ノ留守宅保護方ニ關シテハ遺漏無キ様中國側ニ對シ深甚ナル注意ヲ喚起シ置キタリ

支ヨリ上海へ轉報アリ度シ

支、南京へ轉電セリ

外務省

証書 蘇州領事館 在蘇州日本帝國領事館 昭七 年七月六日 附 在華及香港各公館長

馬

號外

昭和七年七月六日

在蘇州

領事代理 川南省 一

歸任通知ノ件

本官時局ノタメ當地ヲ引揚ケ上海ニ滯在中ノトコロ七月五日歸任シタルニ付右通報ス

本信寫送付先 外務大臣

在蘇州日本領事館

S 11108 0852

0155

REEL No. A-0071

0250

アジア歴史資料センター

52

電信課長

大臣
次官

亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

寫送先

分類 A. 1. 1. 0. 2-1

昭和7 一五七六四 暗

内田外務大臣

第一八號ノ一

官歸任後ノ當地狀況左ノ如シ

一、當地ニ殘留中ノ十九路軍モ全部出發シ一般市民ハ五ヶ月振りニ日
本人ノ面容ニ接シタルコトトテ何トナク親シ氣ニ迎へ中ニハ態々
來訪シテ久濶ヲ敘スルモノアリ話題ハ孰レモ上海ノ戰局ニ向ケラ
レ居ル處戰果ヲ云々スルモノハ支那側ノ宣傳ニ魅セラレ日本軍ノ
敗退ヲ信シ居ルモノ或ハ勝敗五分五分說等主張スルモノアルモ(日
本軍優勢ナリセハ必スヤ崑山以西ヲ突破セル筈ナリトハ事情ニ通

蘇州 九日後發
本省 七月十日前着

川南領事代理

亞

記録簿 滿洲口支軍衝突關係一件
左列ノ各件ハ本館ニ送付ナリ

外務省

S 11108

0853

0156

記

セサル一般人ノ所論ナリ)我飛行機ノ活躍ニハ非常ノ恐怖心ニ捉
ハレタルラシク殊ニ米人飛行機ヲ打落シタルト數次ノ爆彈投下ト
ニハ住民生キタル心地ナク財産家ハ悉ク田舎ニ避難セリトノコト
ニテ我空軍ノ威力ニハ其實際ヲ目撃シタル丈頗ル驚嘆シ居レリ
支ヨリ上海へ轉報アリ度シ

支、南京へ轉電セリ

續ク

S 11108

0854

0157

外務省

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人文

文書

會計

寫送先

(分類 A-1.1.0.21-1.)

昭和7 一五七六三 暗

蘇州 本省

九日後發 七月十日前着

亞

内田外務大臣

第一八號ノ二

川南領事代理

邦人ニ對シテハ抗日宣傳ニ拘ラス概シテ惡感ヲ抱ク者無ク租界外ノ居住者モ歸着即日自宅ニ歸リテ業務ヲ開始シ市内ノ通行ニモ何等不安ヲ感セス在留民ハ一同豫想ニ反スルナゴヤカナル氣分ニ満足シ居ルヲ以テ復歸者モ漸次増加スヘク察セラル工場方面ノ職工連モ一日モ速ニ操業開始方ヲ迫リ雇入申込者殺到ノ有様ナル爲貝釦原料及敷物製造ノ二工場ハ不取敢數日中ニ開業ノ筈ナリ

一、中國商人側ハ十九路軍ノ駐屯中軍費ノ誅求ニ遣切レス目ボシキ商

外務省

店ハ何レモ商品ヲ隱匿シ門戸ヲ縮少シテ(店構ニ依リ軍費徵收ノ多寡ヲ定メタルニ由ル)取引殆ント休止ノ狀況ナリシカ本官等歸任數日前漸ク同軍出拂ヒタル爲始メテ愁眉ヲ開キ店舗ヲ飾リツケ商品ヲ陳列スル等俄ニ活氣付キタリトノ事ナリ十九路軍ハ駐屯中軍費物資ヲ徵發セルノミナラス其ノ出發ニ際シテハ幹部等ヲ始メ將校連カ身受セル醜業婦ヲ同伴セル者多カリシヤニテ(續ク)

外務省

S 11108

0856

0159

S 11108

0855

記

0158

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

大臣
次官

電信課長

(分類 A.1.1.0.2-1)

昭和7 一五七七三 暗

蘇州
本省

九日後發
七月十日後着

亞

内田外務大臣

川南領事代理

第一八號ノ三

同軍ニ對スル怨嗟ノ聲高ク地方民ハ皆厄介拂ヲ爲セリトテ彼等ノ
態ヲ非難シ頗ル不評判ナリ

一、商務會ヲ中心トスル團體ノ軍費立替二十萬元ニ達シ縣政府ノ如キ
モ軍費徵達ニ絡ミ吳江縣ヨリ轉任間モ無キ吳縣長ハ三月辭職シ軍
人出身タル公安局長ト交替セルカ縣政府モ軍費ノ立替鮮カラサル
ヤニテ公安局巡警ノ給料ノ如キモ四月以降未拂ノ儘ニテ財政ノ遺
繰ニ窮シ居ル趣ナリ

外務省

S 11108

0857

0160

一、民間ノ對日空氣概シテ良好ナルニ比シ反日會ハ依然活動ヲ續ケ最
近上海方面ヨリ荷動キヲ始メタル日貨ノ抑留ニ懸命トナリ被害鮮
カラス商人等ハ過去半歳ニ亘ル軍隊ノ爲被レル疲弊ヲ挽回ス可ク
苦心シ日貨モ相當ノ需要有ルニ拘ラス反日會ノ妨害ニテ公然取引
モ出來サル爲内々不平ヲ溢シ居ル向鮮カラス
支ヨリ上海へ轉報アリタシ
支、南京へ轉電セリ

外務省

S 11108

0858

0161

大

通商局

蘇州

並細亞局

機密第四六號

昭和七年七月二十九日

在蘇州

領事代理 川 南省

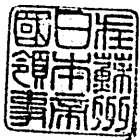
外務大臣伯爵 内 田 康 哉 殿

蘇州在留邦人ノ復歸狀況ニ關スル件

當館竝在留民ノ復歸ニ就テハ大要電信ヲ以テ及報告置タルカ多少
重複ノ嫌アルモ其後ノ狀況ト併セ詳細左記ノ通申報ス

記

在蘇州日本領事館



昭和七年七月二十九日 接收

S 11108

0859

0162

0163

當館竝在留民ノ復歸ニ就テハ南京總領事代理、國民政府當局トノ間
ニ屢次折衝ノ結果七月五日上海發列車ニテ出發ノコトニ決定シタル
カ之レヨリ先キ南京憲兵司令部ニ於テハ軍械處長徐藩ヲ派遣シテ途
中保護ノ任務ニ當ラシムルコトトナリ同人ハ蘇州ニ於ケル軍政兩官
憲ト一切ノ打合ヲ了ヘ三日上海ニ到着四日本官ト會見シテ乘車其他
ノ手配ヲナシ準備ヲ整ヘ吳レタルニ依リ領事館員及家族從者十三名
ニ在留民十四名ヲ加ヘタル一行二十七名ハ五日午前九時二十五分
特別急行列車ニ搭乘シ上海北停車場ヲ出發セリ途中一驛ニ停車セル
ノミニテ蘇州ニ直行セルカ其間何等不安ヲ感スルコトナク午前十一
時五十分安着シ憲兵、公安局、吳縣警察隊ノ護衛裡ニ埠頭ニ出テテ
乘船縣政府差廻シノ汽艇ニ護ラレ水路滞リナク日本租界ニ到着一同

在蘇州日本領事館

S 11108

0860

領事館ニ入レリ去二月五日男子ノ出發ヲ最後トシ在留日本人カ滿五ケ月振ニ歸來セルコトトテ租界附近ノ住民ハ何レモ濫顔ヲ以テ親シ氣ニ迎エタルニハ多少不安ノ念ニ驅ラレ居リタル一同モ意外ノ感ニ打タレ漸ク安堵ノ胸ヲ撫テタリ在留民ハ少憩ノ後各自歸宅ノ途ニ就キタルカ其ノ歸宅ニ際シ當館ヨリ警察官ヲ派遣シ公安局巡警立會ノ下ニ先ツ門戸ニ貼布ノ封印ヲ點檢シ異狀ノ有無ヲ確メタル後屋內ニ入り殘留財産ヲ檢査セシメタルカ租界內居住ノ花筵製造業佐藤清助宅ニ見積價格銀五百二十五元租界隣接地居住旅館業吉原ソエ宅ニ見積價額金千二百九十圓ノ盜難アリタル外今日マテノ復歸者ニハ被害ヲ發見セス右盜難ニ就テハ直ニ中國官憲ニ對シ犯人ノ逮捕ト贓品ノ取戻方ヲ要求シ置タリ

在蘇州日本領事館

S 11108

0861

0164

當地在留民ノ引揚ハ既報ノ通極メテ突嗟ノ間ニ行ハレタルタメ一月二十七日午前一時上海總領事ノ電報ニ接シ同日午前八時マテニ婦女子ヲ二回ニ分チ上海ニ引揚ケシメ殘留男子ハ中國側ノ護衛ニ依リ二月五日出發鎮江經由上海ニ引揚ケタリ(財産ノ殆ント全部ヲ殘留スルノ外ナカリシヲ以テ本官出發ニ際シ領事館及在留民ノ留守宅保護方ニ就テハ中國側ノ深甚ナル注意ヲ喚起シ遺漏ナキヲ期セシメタルカ中國側ニ於テモ快ク我方ノ要求ヲ容レ縣政府ニ於テハ本官等出發後間モナク公安局ヲシテ特ニ外務警察所ナルモノヲ組織セシメ租界外ノ邦人居宅ハ所轄公安局ヲシテ保護セシメタルカ本官上海滯在中公使ヨリ外交部ニ對シ殘留財産保護上ノ注意ヲ喚起セラレタル

在蘇州日本領事館

S 11108

0862

0165

ト數次アリタリトハ云へ當地カ十九路軍敗退後ノ根據地トシテ軍事上ノ中心地タリシ土地柄ナリシニ願ミ邦人ノ被害カ斯クノ如ク少額ニ止マリシハ之レ全ク地方官憲ノ周密ナル保護ノ力ニ職由スル結果ニシテ官民一同ノ感謝措ク能ハサル所ナリ
中國側ニ於テハ本官歸任ニ依リ臨時開設シタル外務警察所ノ撤去方ヲ申出テタルカ當館ハ目下警察官三名ニシテ在留民中未復歸ノモノ相當アル外當地ノ情勢モ知悉スルニ由ナカリシヲ以テ暫時之レカ存置方ヲ要望シ形勢ヲ注視スルコトトセルカ其後支障ナキヲ確メタルニ依リ七月二十二日全員ヲ撤去セシメタリ
當初本官ノ歸任ニ際シ上海滯在中ノ在留民ニ於テハ當地ノ治安状態ヲ懸念シテ婦女子ノ帶同ヲ見合セ男子ノミ同行セルカ復歸後ノ情勢

在蘇州日本領事館

S 11108

0863

0166

意外ニ平靜ニシテ民間ノ氣受モ良好ナルニ意ヲ安ンシ各自業務ヲ開始スルト共ニ家族ヲ呼寄スルモノアリ目下瑞豐絲廠ノ従業員カ工場未開ノタメ歸來セサルヲ除キ土着ノ居住者ハ殆ント九分通復歸スルニ至レリ
當地ハ戰後十九路軍總指揮部ノ所在地トシテ第六十師及第七十八師ノ一部駐屯シタルカ同軍ノ福建移動後ハ憲兵第一團及第八十七師獨立團駐屯シ前者ハ專ラ鐵道警備ニ當リ後者ハ公安局ト協力シテ地方治安ノ維持ニ任シ居レルトコロ縣黨部ノ指揮下ニ在ル反日會ハ最近日貨ノ需要旺盛ナルニ乘シテ暴威ヲ揮ヒ水陸ノ要所ニ検査員ヲ派遣検査員ニハ血氣ノ青年學生（目下成烈體育專門學校生徒）ヲ使用テ日貨ノ嫌疑アルモノハ假借ナク差押へ或ハ沒收シ或ハ罰金ヲ科

在蘇州日本領事館

S 11108

0864

0167

ル等横暴ナル行爲ニハ商民ノ怨嗟甚タシク被害者ノ數毎日相當ニ上ルモ何レモ後難ヲ恐レテ口ヲ噤ミ泣寢入ノ姿ナリ邦人側ニ於テハ租界内ニ經營ノ花筵及貝釦原料製造ノ二工場カ逸早く開工セルカ何レモ職工殺到ノ盛況ヲ呈シ何等支障ナク操業セルニ反シ閩門在住(租界外)ノ一藥種店ハ時恰モ「コレラ」其他ノ流行病猖獗セル折柄開店早々ヨリ賣藥類ノ賣行頗ル良好ナルニ加ヘ醫師方面(當地ハ日本留學出身多數ナルタメ同藥店ノ顧客多シ)ヨリノ註文モ日ヲ逐ヒ増加ノ傾向アリシカ之ヲ感知セル反日會ニ於テハ同藥店ノ前面ニ見張所ヲ設ケテ出入者ヲ看視セシメ藥品ヲ購入スルモノアレハ直ニ追跡シテ沒收シ反抗者ハ公安局ニ拉致スル等邦商ノ營業ヲ妨害セルヲ以テ當館ニ於テハ公安局ニ對シ反日會ノ不法ヲ責メ之レカ嚴重取締方

在蘇州日本領事館

S 11108 0865 0168

ヲ要求シタルニ公安局ニ於テモ反日會ノ無法ナル行動ニハ辯疏ノ餘地ナク現ニ商會ヨリモ陳情アリ折角對策講究中ナルヲ以テ決定次第勵行スヘク決シテ放任シ居ルニアラストノ挨拶振ナリシカ右結果ニヤ數日前ヨリ前顯藥店ニ對スル看視人ノ姿ヲ見ス中國人自由ニ出入シテ取引セリ然レトモ反日會ニ於テハ倍々抗日ノ鋒鏖ヲ固ムルニ腐心シ日商復業ノ對策トシテ仇貨勿購ノ宣傳隊ヲ組織シ講演ノ外傳單ヲ撒布セシメ目的ノ達成ヲ期スヘク企劃中ナリ市内ニハ目下抗日標語ノ影ヲ没シ殊ニ大文字ノ標語ハ形跡モナク抹消セラレ居ル原因ニ就キ探究スルニ右ハ戰時中屢々襲來セル我飛行機ノ目標トナルヲ恐レ軍隊及公安局ニ於テ塗リ消シタルモノナリトノコトナリ現下市内住民ノ邦人ニ對スル氣受ハ差シテ惡化ノ風ナク寧ロ好感ヲ

在蘇州日本領事館

S 11108 0866 0168

示シ居ルモ停車場出入ニハ時折軍人學生等カ故意ニ惡戯ヲ試ミルモ
ノアリ過日一婦人カ中國人從者ヲ伴ヒ上海ニ赴クヘク停車場附近ニ
差掛リタル際偶々休憩中ノ兵士ハ通り掛リノ學生ト呼應シ罵聲ヲ浴
ヒセ喰ヒ掛ケノ西瓜ヲ放擲セルナトノ亂暴ヲ働キタルモノアリ婦人
ハ公安局巡警ノ勸告モアリ乗車ヲ見合セ引返シタルカ右ハ何等直接
ニ暴行ヲ加ヘタル次第ニアラサルモ邦人ノ脅威ヲ感スルコト渺ナカ
ラサルヲ以テ直ニ公安局ニ交渉ノ結果今後邦人ノ停車場行ニハ必要
ニ應シ巡警ヲ附添ハシムルコトトセリ

上海事變中直接戰禍ヲ被ラサリシ當地方住民中ニハ新聞宣傳乃至
「ラヂオ」放送ニ依リ十九路軍ノ勝利ヲ確信シ居ルモノ或ハ半信半疑
ノモノアル等戰果ニ對スル異論種々ニ行ハレ邦人ニ其ノ真相ヲ問フ

在蘇州日本領事館

S 11108

0867

0170

モノナトアリ其ノ無知識噴飯ニ堪エサルモノアルモ我飛行機カ戰時
中頻繁ニ來襲シ米人「シヨート」機ヲ撃落シ飛行機格納所ヲ爆撃シ
高射砲ニ爆彈命中シタル等ノ事實ヲ目撃シ何レモ我空軍ノ威力ニ驚
嘆シ居レルカ當時住民ハ非常ナル恐怖心ニ襲ハレ富豪連ハ悉ク安全
地帯ニ避難シ市民中ニハ内密日本國旗ヲ準備シテ我軍ノ入城歡迎ニ
利用セントセルモノモアリタリト云フ一方十九路軍ハ上海方面ノ戰
線敗退後當地一帯ヲ第二防備線トシテ城壁ノ内外ニ堅固ナル陣地ヲ
築造シ物資ノ徵發、軍費ノ誅求等ニ假借ナカリシタメ市内目抜ノ商
舗ハ商品ヲ隱匿シ或ハ店ヲ鎖シテ其ノ誅求ヲ免レントセルモノアリ
商業凋落シ街頭蕭條タルモノアリシカ十九路軍ノ福建移動ニ依リ始
メテ愁眉ヲ開キ同軍ノ全部撤去後ニ至リ漸ク舊態ニ復セリトノコト

在蘇州日本領事館

S 11108

0868

0171

ナルカ十九路軍ノ退去ニ際シ將校中ニハ落籍セル醜業婦ヲ同伴セル
モノ尠ナカラサリシヤニテ同軍ニ對スル非難ノ聲高キヲ聞ケリ同軍
ノ駐屯中地方民ノ負擔セル軍費ノ如キ巨額ニ上リ現ニ商會ニ於テ立
替ヘタル分ニテモ二十萬元ニ達シ縣政府ノ如キモ軍費問題ニ絡ミ客
冬吳江縣ヨリ轉セル吳縣長ハ去三月中辭職シ軍人出身タル鄒公安局
長後任ニ昇任セルモ財政窮迫ノタメ公安局巡警ノ如キ四月以降ノ給
料未タニ支給セラレサル状態ナリ地方民ニ於テハ上海停戰協定成立
ト同時ニ當地在留邦人ノ復歸ヲ見ルヘク期待セルニ其後否トシテ消
息ナク殊ニ新聞宣傳等ニ依リ中日間ノ空氣再ヒ逆轉スルナキヤヲ憂
ヒ居リタル折柄邦人ヲ迎エタルコトトテ好感ヲ以テ接觸シ殊ニ工場
方面ノ職工等ニ取リテハ滿五ヶ月ニ亘ル休止ニ生活困難ヲ訴ヘ居リ

在蘇州日本領事館

S 11108 0869 0172

タル際トテ操業再開ヲ歡喜シ工場中ニハ賃銀率ヲ低下セルモノアリ
タルモ何等不平ヲ洩スモノナク極メテ柔順ニ從業中ナルカ最近上海
方面ノ排日風潮熾烈ヲ傳ヘ東北方面ノ形勢亦險惡ヲ告クルノ際果シ
テ當地方カ永ク現状ヲ維持シ得ルヤ疑問ナルモ目下休暇中ニテ何時
モ對日運動ノ中心タル學生ノ數多カラサルヲ以テ突發的局面ノ變動
起ラサル限リ當分此儘ニ推移スルニアラスヤトモ觀測セララル
本信寫送付先 在華公使 北平 南京 上海

燕湖 杭州

在蘇州日本領事館

S 11108 0870 0173

寫送先

會文人情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

次大臣

電信課長



昭和8 四一二七 暗

蘇州 廿二日後發
本省 二月廿三日前着

亞

内田外務大臣

第一四號

本官發支宛電報

第七號

貴電合第一〇一號ニ關シ

當館力愈引揚ヲ要スル場合ニ立至レハ上海事變當時ノ例ニ願ミ民心
極度ニ惡化シ或ハ停車場ヘノ乗物スラ供給スルモノ無ク鐵道乗車不
可能トナルヤモ知レス本官ニ於テハ出來得ル限リ鐵道ヲ利用シ度キ
所存ナルモ萬一乗車不可能ニ陥ルカ又ハ乗車スルモ危險伴フ場合ハ

外務省

S 11108

0871

0174

已ムヲ得ス水路ヲ採ル外無キヲ以テ豫メ小蒸汽船ノ用意御手配置ア
リ度シ(水路ハ匪賊出沒ノ惧レ多分ニ有ルヲ以テ汽船ニハ相當ノ武
裝ヲ要ス)所要數ハ必要ニ應シ電報致スヘシ尙小蒸汽ハ鐵道利用ノ
場合停車場ヘノ乗用ニモ安全便利ナルヘキヲ以テ形勢如何ニ依リテ
ハ豫メ當地ニ呼寄セ待機セシメ置ク方都合良カルヘク思料セラルル
ニ付御含置キヲ請フ唯當地トシテ事態切迫ノ場合最苦痛ヲ感スルハ
通信ノ支障ナリ上海事變當時ノ如キ貴地トノ電話ハ勿論電信モ殆ト
不通信ノ状態ナリシヲ以テ(當地電報局ハ當館ヲ去ル一里餘ニテ
徒歩ニテ配達スルヲ以テ常ニ延着ヲ免カレサルカ事變ノ際ハ故意ニ
配達セサリシ疑アリ)今回モ到底確實ヲ期シ難カルヘク懸念セラル
ルニ付テハ此ノ際貴地トノ通信聯絡ニ有效ナル方法モ有ラハ御考慮

外務省

S 11108

0872

0175

寫送先

會文人情條通歐亞細亞
計書事化報約商米

大臣
次官

電信課長

(分類 A110-21-1)

昭和 8 四八一 一 暗 蘇州 一日後發 亞
本省 三月一日後着

内田外務大臣
第一九號

川南領事代理

當地支那官民ハ昨年上海事變カ邦人婦女子引揚ノ翌日勃發セル事實ニ願ミ時局柄我在留民ノ動靜ニ深甚ノ注意ヲ拂ヒ居レル際新聞紙ハ在留民ノ上海往復ヲ種ニ官命ニ依リ多數ノ日僑引揚タリトカ或ハ工場ヲ既ニ閉鎖セリトカ眞シヤカニ無稽ノ記事ヲ掲ケ注目ヲ惹キ居レル爲本官二十八日縣長ヲ往訪シ在留民引揚ノ事實ナキ旨ヲ述ヘ今後ノ保護方ヲ要求スルト共ニ特ニ反日會ノ不法行爲ニ付嚴重取締方申入置キタル縣長ニ於テモ邦人保護ニ付既ニ關係當局ニ命シ手配濟

在留民保護引揚ノ事
川南領事代理

外務省

S11108

0874

0177

置キアリ度シ尤本官ニ於テ速ニ當地カ有事ノ際通信竝ニ交通上孤立シ無援ニ陥ル惧レアル土地柄ナルニ鑑ミ官民ノ安全ヲ期シ得サルカ如キ狀勢ニ迫レハ成ル可ク御迷惑ヲ掛ケサル様善處シ度キ所存ナルモ右不取敢心付ノ儘早見申進ス
大臣へ轉電セリ

外務省

S11108

0873

0176

ナルガ尙此ノ上ホモ遺漏ナキラ期スヘキ旨明言セリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ
支、南京へ轉電シ燕湖へ暗送セリ

外務省

S11108

0875

0178

REEL No. A-0071

0202

アジア歴史資料センター